

二番堤から下頼成をのぞむ

# 光寿

西慶寺、常称寺、宮森の南桂寺さんをお招きして読経のあと法話がありました。

今回の物故者の方は齋藤實子様、(華光院釈尼妙恵) 齋藤典子様 (釈尼得証) 林澄子様 (法樹院釈尼妙忍) ・八田トミ様 (釈尼妙祐) ・林しさい様 (潮声院釈尼敬實) ・瀬成瑛子様 (浄楽院釈尼瑛好) 様・八田芳子様 (芳受院釈尼智榮) の

## 新仏七柱を悼み

### 尼講法会営まれる

緑の木立を涼しい風が吹き抜けていく季節となりました。尼講の法会が六月五日九時三十分より、いかるぎ館で行われました。



季節のうた  
シヨバン弾く指持て毛虫焼きにけり  
林 香月子

七柱の方々でした。改めてご冥福をお祈りいたします。

これで昭和に入って法名帳に記載合祀された頼成の女性物故者は合わせて三百四十六柱となりました。

今年の当番は北明常会でした。

## 緑のぼくの福三地区を巡る



鉢巻用水記念碑前で福澤さんの説明を聞く

### 公民館、般老

連高齢者学級共催の第二十六回地域巡りが、六月四日、約七十名が参加して行われました。今回は福山地区を訪ねました。はじめにロイヤルホテル北側に広がる大堤へ、堤横にある鉢巻用水記念碑前で、生粋の土地っ子であり福山願成寺住職、富山県の名チユラリ

ストでもある福澤秀見さんの説明で、築堤の歴史や現状を学びました。そのあとロイヤルホテル、福山神明社、願成寺をめぐって最後に現在松下さんの牛舎のある戦時中の地下工場跡を見学しました。日頃見慣れた風景ですが、専門家の解説を聞きながら歩くと、今さらながら自分たちのふるさとの豊かさに気づかされます。当日はあいにくの夏日で汗をふきふきでした。が実りあるひとときでした。

## 般若地区から88万6866円

### 東日本大震災の義援金

過日の東日本大震災に際し、般若でも地区として義援金が募られました。五月末の締め切りまでに表記の金額が集まり、日本赤十字社砺波市地区の窓口届けられました。全国各地から様々な形で寄せられた善意のお金は忝千億円を遙かに超えているようですが、残念なことに災害発生から三ヶ月を過ぎた今になっても、被災者の手元にはその一部しか届いていないとのこと。一日も早く被災者に届けてほしいものです。

## 生活機能チェックを受けよう

六五歳以上が受診することになっている健康診査と同時にされる生活機能チェックで、機能の低下が見られる場合に医療機関で受けます。内容は嚙下テスト、心電図、貧血検査、血液化学検査で、今自分の身体がどんな状態にあるかがわかり、今後の健康維持にたいへん役立ちます。健康診査の受診率が低いようですが、ぜひ受診するようにしましょう。

### いかるぎ 鳩木

東日本大震災から早くも四ヶ月が過ぎようとしていきます。週刊誌の記事がどこまで信用できるかわかりませんが、それによると、震災の被災地に入っているボランティアの中には、善意の人ばかりでなくかなり悪質な連中もいるようです。物見遊山気分の人、無神経に写真を撮り回る者、物品をかすめ取る者、その他言葉では言えない卑劣な行為を平気でするクズのような者もいるということです。

一方永田町では被災者の苦悩を横目に、小沢と渡辺が身内の国会議員を集めて誕生パーティをやらせ、総理の椅子をめぐって国会議員たちが右往左往し、挙げ句の果てに総理の退陣時期をめぐって、前の党代表が現の代表をペテン師とか詐欺師などののしるという醜態をさらしています。

地震、津波、放射能汚染、肉親の死亡や行方不明などで、明日のことさえ分らず不安な日々を送っている被災者の心情を思うと本当にやりきれません。

こんな時期に内閣不信任案を出す野党も野党ですが、首相が震災対応に一定の目処がつけられたら辞めるというのにも、不信任の理由が震災対応の不手際にあるだけに理解に苦しみます。今の日本の政治。あまりにも常識からかけはなれたことが多すぎます。

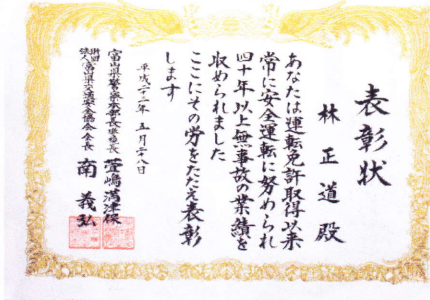
# 九十四歳・まだまだ現役ドライバー

林正道さん四十年以上無事故無違反



春の交通安全運動最終日の五月二十八日、公文名の林正道さんが、四十年以上無事故無違反の富山県警察本部長表彰を受賞されました。

林正道さんは光寿会の男性最長老。大正六年三月生まれの当年九十四歳、昭和四十五年六月免許取得以来無事故無違反を続ける現役のドライバーです。林さんはお若い頃、日中、太平洋の両戦争に従軍、中国大陸を転戦してお国のために尽くされました。復員後は県職員として長らく道路保全の業務に従事、この間仕事の必要上五十四歳で運転免許を取得、



地域ぐるみで守ろう子供たち 子供見守り隊紹介式



子供たちの生活の安全を守る子ども見守り隊の隊員を児童たちに紹介する会が、六月十日午後庄東小学校で開かれました。当日出席された方々の中には老人クラブの会員が多く、地域ぐるみで子供を見守る活動が高齢者の一つの生き甲斐になっているようです。児童たちからは安全について日頃実践している事の発表と隊員に対する感謝の言葉が述べられました。隊員の人数は？との問いに「地域ぐるみの組織なので地域の大人の方たちすべてが隊員だと思っています」と校長先生の答え。光寿会の会員の中にも毎朝、交差点で安全指導をしておられる方がいらつしゃいます。登下校の見守り、出会ったときの声かけなど、お互い出来る範囲で校長先生の言葉に応えたいものです。

### ～日帰り旅行 収支報告書～

【収支報告】

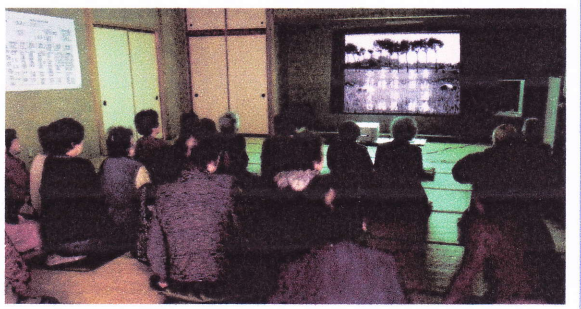
項目	金額	備考
収入		
参加費	242,000	男性 16 6,500 104,000 女性 23 6,000 138,000
八田会長より志	10,000	
合計	252,000	
支出		
たがわ観光船	235,233	@5,400円/人で基本契約
旅行保険	19,500	@500円/人*38名 (株)ユーカリラベルに支払
車中薬代	9,266	車中薬子・つまみ・カップ酒
合計	263,999	
収支差額	▲11,999	
補助	上記 11,999円	を光寿会会計より補助します。 (平成23年度予算額 20,000円)

会員の慶弔  
弔事  
齊藤 好子様  
六月七日死去  
享年数え年八十一歳  
荒木 鐵夫様  
六月十七日死去  
享年数え年九十歳  
謹んでご冥福をお祈りします

腕立て伏せの出来る若い者顔負けの筋力を維持しておられます。会員一同林さんの長寿と健康にあやかりたいものです。

以来今日まで無事故無違反を続けておられます。健康法は規則正しい生活と適量の酒。今でも二十回近い

- ### 7月行事予定
- ★1日 定例役員会
  - ★20日 らんじよ浮世亭
  - ★25日 高齢者自転車安全講習



今回はDVD「昭和三十年代の家族・農村編」の中から、「かあちゃんたちのバス旅行」、「おばあちゃん謝る」、「おやじ」の短編三本を大画面ビデオで見ました。いずれも昭和三十年代の農村を舞台にしたドキュメンタリータッチの映画で、画面に泥田の中を這いずり回った草取り、棧俵や縄など、若い頃みんなが体験した場面が映し出されると、辛い思い出と懐かしい思い出が混ざり合った感情がこみ上げて、少し涙ぐむ方もありました。上映が終わったあとも、ひとしきり若かりし頃の思い出話に花が咲きました。午後には阿彌陀經の読誦と無量壽經の書写第四回、名医の耆婆(ぎば)が阿闍世(あじゃせ)を諫め、王妃殺害を思い止まらせる場面を書写しました。

次回は7月20日(水曜日)です

お話いろいろ「長老の人生談義」ほかを予定しています。10時から1時間半あまり、お時間のある方は誘い合わせご来亭ください。